

平成22年7月16日

「カラスの悪戯」によるレール面置石防止対策について

＝新たな開発でカラスと知恵比べに奮闘中！＝

今年度、カラスの悪戯によるレール上の置石は、6月8日に東北本線村崎野～花巻間で1件発生し、現在6件の発生状況にあります

このことから、昨年に引き続き「カラス忌避音装置」の開発により列車支障の撲滅を目指します。

昨年度、赤外線センサー方式により「カラス忌避音装置」を鳴動させましたが、レール頭面と同じ高さからカラス以外の小動物（犬・猫）等にも反応しました。

このことから、一定の高さのエリアでカラスのみ検地出来る装置に変更し、検証することにしました。

1. 新たなカラス忌避音装置の概要

1) 計画概要

線路内に飛び降りたカラスを「レーザー式測域センサ」で検知、忌避音装置でカラスに恐怖感を与え「線路内は危険エリアだ！」と学習させる装置の開発を計画しております（別紙）。

注）忌避音：カラスの擬似鳴き声（デジタル音）で、カラスには恐怖感や助けを求めている鳴き声に聞こえているよう設定しています。

2) 設置区間

東北本線 花巻空港～石鳥谷間 506k600m～506k700m（L=約100m）

3) 設置期日

9月上旬に現場へカラス忌避音装置を設置し、効果を確認します。

2. 実用化に向けたカラス忌避音装置について

新たなカラス忌避音装置を今年11月頃まで効果を検証し、その後、忌避効果の評価を行い、実用化に向けた取り組みを計画しております。

今年度は、社内での水平展開を行い、効果の確認を積み重ねると共に、カラスの線路に対する恐怖感の効果についても検討します。